

ステージの引き上げと今後の対策の方向性について

令和3年4月19日

- 本日は、県内で感染者が急激に増え始めていることをうけ、ステージの引き上げと今後の対策の方向性についてご説明します。

スライド 2

- 全国の感染状況です。
- ご覧の通り、広島県は感染の立ち上がりが比較的遅い状況にあります。

スライド 3

- これはまず、県内の1000を超える、医療機関のみなさまによる検査によって早めに感染の芽を摘んでいただいていることが要因のひとつだとうけとめています。

スライド 4

- また県民の皆様にもご協力いただき、風邪かな？と思ったらすぐに受検いただくことで、発症から判明までの日数が短縮され、それだけ感染が広がりにくい状態が作られていると考えています。
- 感染の急拡大が抑制できている大きな要因は、県民および事業者の皆様の、感染防止対策や早期受診へのご理解とご協力のおかげであると考えており、深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

- さらに、医師、看護師、薬剤師の皆様など、医療に携わる多くの皆様、積極的な検査実施による感染の早期把握と拡大の未然防止、加えて、新型コロナに感染してしまった方への迅速かつ的確な医療等の提供に、ご尽力いただいていることに対して、心から敬意と感謝を申し上げます。

スライド 5

- 感染者を幅広く、迅速に見つけだすための方策として PCR検査体制の強化を図ってまいりましたが、ご覧のとおり、現在は検査数が多く、幅広く検査が実施できています。
- これにより、感染者を確実に捕捉し、感染の全体像の把握につながると期待しています。

スライド 6

- しかしながら、直近では感染状況の悪化が見られます。
- 病床は今の時点ではまだひっ迫していませんが、先日、1週間の人口10万人あたり新規報告数が県独自警戒基準値である4.0人を超え、その状態が継続しています。
- 特に、広島市と福山市で全体の8割近くの感染者が発生しています。

スライド 7

- 直近の感染状況の分析結果です。
- 県外往来のある方や、県外から来られた方が感染・発症し、県内での感染拡大につながっていると推測されます。

スライド 8

- 画面左側は、昨年12月の感染拡大初期において、感染者が県外と関連しているかどうかや、飲食店勤務・飲食店利用といった「飲食」をキーワードに有するかどうかについて整理したものです。
- 県外由来の感染の発生に続き、飲食での感染が拡大しています。残念ながら、現在、昨年12月と同様の現象が起こっていると考えます。右側のグラフのように、県外関連のある者の増加に続き、「飲食」をキーワードにもつ感染が広がっています。
- 特に、広島市中区の繁華街と関連のあるケースがみられるようになっています。
- なお、この分類では、感染経路の判明・不明の別を区別していません。

スライド 9

- こちらは、先ほどとは異なり、感染経路が特定された事例のみについてその内容を整理したものです。
- 家庭中心の感染はやはり一定数発生してしまうのですが、特徴的だと考えているのは、職場での感染拡大です。
- 多くの職場で感染拡大防止策が講じられていると思いますが、詳細に調べてみると、職場の人間関係における飲食や喫煙所といったマスクを外すシーンでの感染が見られます。

スライド 10

- さらに、全国的にも問題になっていますが、県内において変異株の確認が相次いでいます。
- 現在のところ、変異株が流行の主流になるという事態には 陥っていませんが、十分な警戒が必要だと考えます。

スライド 11

- 直近の感染拡大傾向を受け、先日今後の拡大予測を行いました。
- すでに先行して感染拡大している地域の感染者数の週合計値の比率について整理した結果から、拡大が始まった場合は、概ね前週比1.8程度で推移すると仮定しました。
- この仮定に当てはめると、このままでは、大型連休の週には 1週間で589名、10万人あたりでいえば20を超える新規感染者が 発生してしまうと危惧しています。
- 他の自治体においてもそうですが、県内でも変異株の感染拡大が続いており、その感染力の強さにはこれまで以上に警戒しなければなりません。
- この予測にある状態を回避すべく、様々な対策を講じる必要があります。

スライド 12

- 先ほどまで説明した分析結果を整理したものがこの表です。
- 県ではこれまで、検査体制の強化を図り、市中の感染者を幅広く捕捉することを目指してきました。県民の皆様の行動変容により、風邪症状がある場合の積極的受診も進んでいると考えます。
- しかしながら、昨年12月と同様の傾向も見られ、今後急拡大につながる可能性もあります。また、変異株の流行にも留意すべきです。
- 分析結果より得られた感染抑制要因を活用し、飲食店への時間短縮要請といった対策を回避できる形で、この感染を抑え込みたいと考えています。

スライド 13

- そこで、本日、本部員会議を開催し、感染状況をこれまでのステージⅠからⅡに引き上げることとしました。
- これにより、注意喚起を促すとともに、皆様と今一度危機感を共有します。

スライド 14

- また、これに伴い種々の対策も講じます。
具体的な内容については、近日中に改めて発表しますが、対策の方向性はこの3点です。
- 直近の感染状況の分析結果より、県外から持ち込まれた感染が、繁華街において拡がりつつあることが分かりました。昨年の秋以降のような時間短縮営業の要請を出来るだけ避けるために、なんとしてもここで感染拡大を防ぎたいと思います。
- また、同僚同士の会食等を起因とすると推測される事例が増えていますので、事業者を対象とした対策も講じていきます。
- さらに、今後も県外由来の感染の持ちこみは一定数発生すると推測していますので、県外往来者を対象とした検査体制についても、春の集中実施に加え、強化を続けてまいります。
- これら対策に加え、今後、感染が急拡大した場合に備えて医療提供体制を現行のフェーズ1からフェーズに2に移行することで患者受入れ体制を強化します。

スライド 15

- 今、県民の皆様に、引き続き実施していただきたいことは
 - ・検査の受検へのご協力
 - ・積極的疫学調査へのご協力
 - ・県外往来への注意
 - ・飲食の場面での注意
 - ・職場での感染リスクに注意 です。
- まず、風邪症状がある人は、出勤などせず外出を控え、かかりつけ医へ連絡してすぐ受診を

お願いします。

医療機関が休みの場合やどこに相談したらよいかわからない場合は 積極ガードダイヤルに連絡してください。お近くの医療機関を紹介しますので、紹介先ですぐに受診ください。

○ 無症状の方も、

・広島市内で、県外往来をした方やそうした方と接触した人を対象にした、春のPCR検査 集中実施を行っているので、積極的に検査を受けてください。

・それ以外の方も、県内5カ所のPCRセンターや、広島市と福山市の対象薬局で検査を受けていただけます。

積極的な受検をお願いします。

スライド 16

○ 次に、感染の拡大を防止するためには、積極的疫学調査がとても重要です。感染力の強い変異株も増えており、対象範囲を拡大して広く調査を行っていますので調査へのご協力をどうかお願いします。

スライド 17

○ まもなく大型連休を迎えますが、まん延防止等重点措置地域との往来は最大限自粛をお願いします。

○ また、直近1週間の10万人あたり15人以上の感染拡大地域への移動は、その必要性を改めて検討し、慎重に判断してください。

スライド 18

○ 次に、飲食の場面についてです。

○ 同居のご家族以外の方とお茶や食事は、お店、外、家といったどのような場所であっても、感染防止対策を徹底してください。

スライド 19

○ 飲食店を利用される場合には、パーテーション等で仕切った 飛沫感染予防対策をとっている飲食店や会食の場を利用してください。

○ この場合のポイントは、この仕切りが隣の人との間にも設置してあることです。

○ また、いわゆるマスク会食を行う際には、マスクを外した状態での会話は控えるようにしてください。

○ さらに、「広島積極ガード店」等の利用、「ひろしまコロナお知らせQR」への利用者登録もお願いします。

スライド 20

○ 最後に、職場でも感染リスクの高い場面での感染防止対策の徹底をお願いします。

○ 喫煙や休憩など、マスクを外す場面では特に注意が必要です。

スライド 21

○ 繰り返しになりますが、今、県民の皆様に、引き続き実施していただきたいことは、ご覧の5つです。

(1.検査の受検へのご協力、2.積極的疫学調査へのご協力、3.県外往来への注意、4.飲食の場面での注意、5.職場での感染リスクに注意)

○ 感染拡大防止の要は、感染者の早期発見と経路の遮断です。

これまでご協力いただいたすべての皆様に改めて感謝します。

ここで急拡大を食い止めるために行政も手を打っていきます。

お願いばかりで申し訳ありませんが、みんなでこの状況を乗り切りたいと考えていますので、引き続きどうかご理解とご協力をお願いいたします。